

## 令和7年度「仙台塩釜港港湾脱炭素化推進協議会」議事概要

県では、国際拠点港湾仙台塩釜港におけるカーボンニュートラルポート（CNP）の形成に向けて、「仙台塩釜港港湾脱炭素化推進計画」に基づき、「令和7年度仙台塩釜港港湾脱炭素化推進協議会」を開催しました。

今回の協議会では、構成員各企業に対して実施したCO<sub>2</sub>削減の取組状況に関するフォローアップの結果を基に、計画策定から1年目となる2024年度時点の削減実績や2030年度の短期削減目標の進捗見込みを確認したほか、構成員以外の立地企業に対するアンケート調査及び港湾物流部会の取組状況について報告をしました。

また、仙台港区、石巻港区の立地企業より最新の取組状況を報告いただいたほか、県環境生活部からは、FC商用車の導入促進に向けた支援事業などの取組について情報提供をしました。

### <開催概要> ※詳細は議事資料を参照

日 時：令和7年7月8日（火）

午後1時30分から午後3時まで

場 所：フォレスト仙台（WEB参加併用）

出席者：構成員＋オブザーバー 計43者

（有識者、物流・港湾関係団体、立地企業、  
先進企業、関係市町、経済団体、国関係機関）

議 事：

- 前回協議会の結果整理と意見への対応
- フォローアップ/アンケート調査の概要と結果
- 短期削減目標に対する進捗状況
- 港湾物流部会の開催状況
- 話題・情報提供（日本製紙株式会社石巻工場、住友商事株式会社、県環境生活部）



開催状況

### <議事に関する主な意見（要約）>

（有識者）2030年度短期削減目標の達成まで今後さらに79万トンの削減が必要であり、達成に向けた手立てを具体的に考えていく必要がある。

（有識者）アンケート調査の対象とした構成員以外の企業の削減量は、これら企業の排出量の全体に占める割合を踏まえて適切に評価すべきである。

（企業）船舶に関して、計画では港内停泊中のCO<sub>2</sub>排出量を対象としているが、当社では燃料の海上輸送行程も含める必要があると考えている。

（有識者）長い視点で取り組んでいくために、企業単体が廃棄物を単にリサイクルするだけでなく、域内で異なる用途に繰り返し利用することで、資源の有効活用を図る新しい発想が求められてくる。